

【考え・基礎知識】

職業を表す語やどのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする言い方を知る。

【つながり】

外国の小学生と「将来の夢」について伝え合うことで、世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知る。

【応用・ひろがり】

異なる文化をもつ人々と交流等を体験し、多様なものの見方や考え方があることに気付く。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 Lesson 8 「What do you want to be? 『夢宣言』をしよう」
- ◇ 単元の目標 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付くとともに、どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんで、積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。

| 時 | 主な学習活動 |
|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の6年生がWebカメラを使って、姉妹校の小学生と「将来の夢」を交流しているビデオを観て、自分たちも「将来の夢」を交流したいという気持ちをもつ。 ・英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付くとともに、職業を表す語の言い方を知る。 → 本時 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の「将来の夢」をその理由を含めて考え、クラスの友だちと「将来の夢」について交流する。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友だちとの交流を通して、お互いの夢についてもっと知りたいことを指摘し合い、姉妹校の小学生との交流内容を見直す。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の小学生とWebカメラを使って、「将来の夢」について交流する。 |

- ◇ 本時の目標 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。
- ◇ 学習の流れ（1時間目/全4時間）

| 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て | 評価規準[観点] (評価方法) |
|---|--|---|
| <p>1 課題意識をもつ。</p> <p>昨年度の6年生が姉妹校の小学生と「将来の夢」を交流しているビデオを観て、自分たちも「将来の夢」を交流したいという気持ちをもつ。</p> | <p>◇姉妹校の小学生との「将来の夢」についての交流を観て、自分もつ夢やなりた理由の違い等、気付いたことを発表させ、自分たちの将来の夢を真剣に考えようとする気持ちを高める。</p> | <p>6年生へのあこがれの気持ちをもたせるために、Webカメラを使って、「やりとり」をしている姿を見せる。</p> <p>未習の場合は、Webカメラの特性を活かし、ジェスチャーで伝えることもできることに気付かせる。</p> <p>視覚的に単語の語尾の特徴に気付かせるため、職業を表す語を文字で示す。</p> <p>既習の英語表現と関連付けて導入することで、効果的な慣れ親しみにつなげる。</p> <p>・英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。【気】<行動観察・振り返りカード分析></p> |
| <p>【Webカメラを使った自校の6年生と姉妹校の小学生の「将来の夢」についての交流の例】</p> <p>姉妹：Hello, everyone. My name is Aleksi Korhonen. I want to be a scientist. 自校：(手のひらを上にあげて、「なぜ?」というジェスチャーをする)</p> <p>姉妹：Because I like my country, Finland. And I want to help the Earth. 自校：Wow, great! Do you like science? 姉妹：Yes, I do. 自校：Me, too. I like my country, Japan. I want to help the Earth. Thank you.</p> | | |
| <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちや言い方から言葉の面白さを見付けよう。</p> | <p>◇将来の夢を交流するために、英語の職業を表す語の成り立ちを知る必要があることを知らせる。</p> | |
| <p>3 職業の言い方を知ろう。</p> <p>英語と日本語の職業を表す語の特徴について考える。</p> <p>【ビデオで聞き取れた職業を表す英語】 teacher, florist, dentist, scientist,</p> <p>【カルタゲーム】 職業の絵カードを用いて、ペアでカルタゲームをする。</p> | <p>◇英語と日本語での職業を板書し、表記の特徴を発表させる。</p> <p>【職業を表す日本語】 教師, 歯医者, 消防士, サッカー選手</p> | |
| <p>4 将来の夢の言い方を知ろう。</p> <p>“I want to be a(an) ~”を用いて、将来の夢を表現する。</p> | <p>◇カルタゲームで、ALTの後に職業を英語で発音させることで職業の言い方に慣れ親しませる。</p> | |
| <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>児童のまとめ例 職業を表す言葉について、英語では語尾に「-er」「-ist」が付き、日本語では語尾に「-師」「-者」「-手」「-士」「-屋」がついている。同じように語尾に特徴があることが興味深かった。</p> | <p>◇Lesson 5で学んだ「行きたい国」の表現“I want to go to Italy.”を想起させ、「就きたい職業」の表現“I want to be a teacher.”を導入する。</p> | |
| <p>6 本時を振り返り、次時につなげる。</p> <p>「将来の夢」について、本時に学んだ英語表現を使って、姉妹校の小学生に伝えることができる見直しをもつ。</p> | <p>◇本時に学んだ英語表現と既習の英語表現を使うことで、姉妹校の小学生に「将来の夢」について、その理由も含めて表現できることを伝える。</p> | |